

特別号

ふれあい

題字：扇谷利二
(七徳会第三代理事長)

第15号

平成23年1月1日発行

発行所

医療法人社団 七徳会
魚津病院・魚津老人保健施設
魚津老健ふれあい支援事業所
〒937-0806 富山県魚津市友道789
電話 (0765) 24-7671(病院)
(0765) 24-7691(老健)
(0765) 24-7617(居宅)
FAX (0765) 24-7157

高齢者賃貸住宅
ぬくもりハウス
ぬくもり訪問介護事業所
〒937-0806 富山県魚津市友道777
電話 (0765) 24-7681
FAX (0765) 24-7197



魚津病院院長 大田亨

福祉講演会（十月七日）

「介護すること されること」

法人発足二十五周年を迎えて

魚津病院設立に向け、昭和五十九年九月、七徳会が発足しました。発起人である当時の魚津市長、清河七良の「七」、初代の理事長、松井徳兵衛の「徳」の文字をとり、また七人の役員の徳に基づいて運営する会という意味を重ねて命名したものです。昭和六十年五月、魚津病院が開院。昭和六十一年に医療法人の設立が認可され、今年で二十五周年を迎えます。

昭和六十三年、全国で八番目、富山県では最初となる老人保健施設を開設。平成十二年、高い公益性、公共性の必要から厳しい審査を通過し、特定医療法人への移行が認めされました。同年、介護保険がスタート。平成十七年、大規模修繕、増設工事。平成二十一年、高齢者専用賃貸住宅ぬくもりハウスを開設いたしました。

私は昭和六十一年より非常勤医師として、平成九年より常勤医師として働いております。常に変化を求める状況下におかれ、戸惑いと不安の連続だったように思います。保険制度の変化、利用者様の意識変化などに対し、柔軟性が要求されます。時として個人の信念が揺らぐこともあります。が、優秀なスタッフのおかげで、なんとか間違った道には向かっていません。法人設立にご尽力いただいた方々の理想に一步でも近づけるよう、また利用の方々に安心していただける医療介護を提供できるよう、今後も更なる努力を重ねてまいります。

紹介されたたくさんの実践事例から、認知症の方の対応を学ばせていただきました。紹介された多くの良い人が対応する。○相性の良い人が対応する。○肯定も否定もせず、オウム返しで受け答えをする。○受容する。○抑制はしない。嫌がることをすれば、なおさら、抵抗する。○薬に頼らない。薬をやめただけで、人間復帰する。○無断外出を阻止するには、その場しごでもいいから、本人が納得することで気持ちをそらす。○皮膚で、穏やかに対応していくのです。

ふれあい

ベストオブ
家族会活動

家族研修会



春一番まつり



春一番まつり

3月13日、春一番まつりを開催しました。各病棟と食堂ではアロママッサージが行われました。喫茶店も開店、本格的なコーヒーを振る舞い、家族ボランティアが大活躍でした。

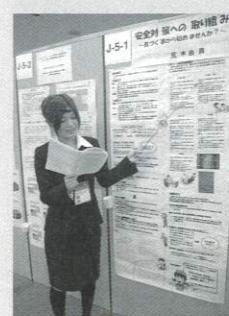
6月26日、黒部市ふれあい交流館「あこやへの」にて、家族研修会を開催しました。寺田健康運動指導士より、ペットボトルを使った手軽にできる健康運動を指導していただきました。その後、参加者でバーベキューを行い、職員や家族同士の交流を深めました。

あいの風ステップ'21

体も心も
おどります

毎回、素敵な衣装で華麗なよさこい踊りと、参加型の「3B体操」を紹介され、楽しい時間を演出しています。今後の来院を、心よりお待ちしております。

発表！気づくことで事故防止

気づきが
チャンス

全国大会にて研究発表



11月10日～12日、岡山県において、第21回全国介護老人保健施設大会が開催されました。当施設から看護師の経沢律子が「排便コントロールを試みて」と題して、研究発表を行いました。「下剤に頼らずに、くず粉を用いた団子を摂取していただくことで、便秘予防と排便コントロールに良い効果があった」と実践内容を発表しました。

八月二十四日～二十五日、日本慢性期医療学会が、大阪国際会議場で開催されました。当病院より、ケアワーカーの荒木由貴が「安全対策への取り組み～気づくことから始めませんか～」と題して、研究発表を行いました。「潜んでいる危険に対して、気づきの目を養う。自分自身を振り返りながら、良好な職員関係を築いていくことが、事故予防に有効である」と実践発表をしました。

60歳からも安心な生活
入居者募集中!!医療法人社団
七徳会高齢者
賃貸住宅ぬくもりハウス
☎ (0765) 24-7681

シルバーライフを健康で明るく
医療法人社団 七徳会
魚津病院★ 魚津老人保健施設 ☎ (0765) 24-7691
魚津老健ふれあい支援事業所 ☎ (0765) 24-7617
ぬくもり訪問介護事業所 ☎ (0765) 24-7681

ボランティア
募集

- ご利用者のお話し相手
- 行事イベントのお手伝い
- 特技を生かした作業活動等々

□ 本誌は再生紙を利用しています。

特集13

求む!!家族力!! ~本人と家族のかけはしになりたい~



皆様ご存じですか？ 法人家族会

当法人では、寝たきりや認知症であっても、人として最後まで自分らしく、そして、安心して穏やかに過ごしていただきたい……。

そのような病院や施設をご家族の皆様と共に創っていきたい…と考え、家族会を結成し、様々な活動を行っています。

医療・介護・老健の会員の中から、役員（12名）になっていただき、年に数回、家族役員会を開催し、行事運営や研修会・交流会などについて話し合い、家族会活動を進めています。



家族総会（4月）

家族会の活動報告・活動予定・収支決算・職員紹介・家族会役員紹介などを行っています。

あわせて法人の経営方針、医療・介護・老健の基本方針の説明を行っています。



さわやか運動会（5月）

家族会と協力し、開催しています。限られたスペースの中で、本人・家族・職員共に熱気溢れる競技を行います。



家族研修会（6月・2月）

家族会員の方のアンケートに基づき企画しています。楽しく学ぶことを基本方針に開催しています。

家族が今知りたいこと、制度や健康体操・施設見学など様々な企画を行っています。



毎月の行事活動
誕生会やおやつ会など、四季に合わせた行事を開催しています。広報誌や掲示板でスケジュールをご確認ください。

ところてん作り



納涼夏祭り（7月）

家族役員の協力を得ながら、家族会と協力し、夏祭りを開催しています。本人・家族など、より多くの人に一緒に参加していただき、夏のひとときを楽しく過ごせるように毎年、工夫を凝らしています。家族ボランティアも大活躍です。



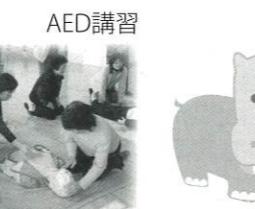
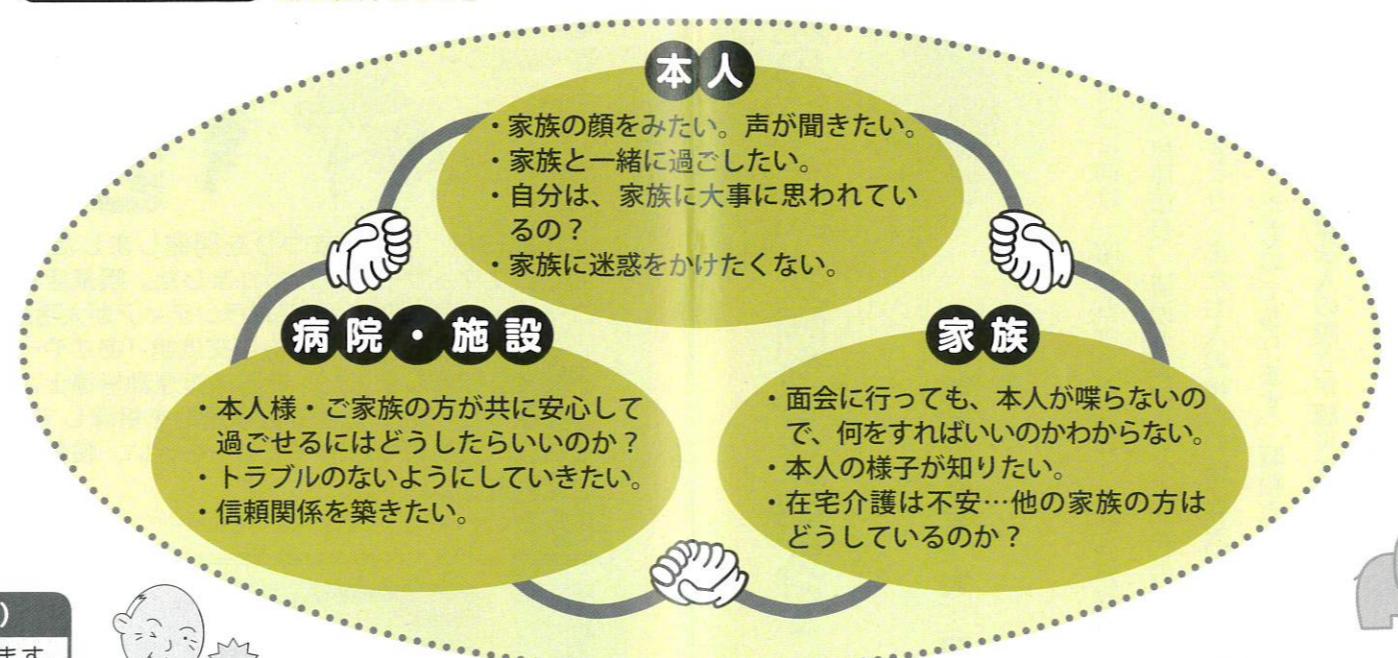
はじめに

利用してうまれる
本人・家族・病院・施設の思い

病院や施設に入院・入所してほっと一安心すると同時に、利用者とその家族にとって新たな生活が始まります。

家族関係が希薄化し複雑化している昨今ですが、当法人では『医療を通して、地域の老人の生命と健康を守り、老人とその家族に幸福と安心を与える』ことを経営理念に掲げ、様々な活動を通して、『快適な療養生活』『本人と家族との交流』を支援しております。

1年を通して、本人・家族・病院・施設の思いを叶えるために取り組んでいる家族会の活動を紹介します。



写真の掲示
毎月行われる行事写真は、各病棟の廊下に掲示してあります。希望者には、有料で写真をお渡しいています。

家族会アンケート
満足度アンケート（12月）

率直な意見を聞かせていただき、次年度に向けて、家族会・法人運営の参考にしています。



意見箱・苦情要望受付
苦情や要望には、各相談員が対応しています。お気軽にお尋ねください。また、玄関には、意見箱を設置しています。話しにくい場合は、こちらをご利用ください。

家族と本人のふれあい
『本人に何かしてあげたい』そんな気持ちに少しでも添えるように家族の意向や本人の体調を考慮しながら対応しています。離床活動や手浴などを実施しています。



家族交流会（12月）

家族同士の交流と意見交換を目的に開催しています。チーム対抗のゲームで、リラックスした後、グループディスカッションで、家族役員を中心に日頃の思いや介護の苦労話などをざっくばらんに話し合います。

ひな祭りお茶会
(医療・介護・老健合同)（2月）

家族と一緒に抹茶を楽しんでいただきます。

ひと足早く春の雰囲気を感じながら、雛人形をうしろに本人・家族と一緒に写真撮影を行います。

飲食ができない方には、フルーツの香りの特別な塗り物を口の中に塗り、楽しんでもらっています。

ふれあい

毎月1回発行の機関紙で、10日に発送しています。法人案内や各部署毎で行った行事の紹介、次月の予定などを掲載しています。ふれあいのコメント欄には本人の近況報告や依頼ごとなどを担当職員が記入します。



サービス担当者会議
本人・家族の意向を伺い、個人に合ったケアプランを作成します。家族や専門スタッフを交えて、サービス担当者会議を開催し、本人の療養生活の状況（病状・リハビリなど）を聞きながら、サービス内容を検討する会議です。

